

2016年度 部長の「仕事目標」 年度末成果

2016年度 部長の「仕事目標」の年度末成果をまとめました(3月31日時点)。
 その中から、主な取り組みの成果をご紹介します。市のホームページにすべての取り組みの成果を公開しています。

☎経営改革室☎724・2503

政策経営部長 市川 常雄		経営改革室長 榎本 悦次		広報担当部長 谷 博夫		総務部長 西澤 哲郎	
取組	評価	取組	評価	取組	評価	取組	評価
次期5ヵ年計画(町田市5ヵ年計画17-21)の策定	C	新5ヵ年計画(2012年度~2016年度)の着実な推進	C	シティプロモーションの推進(「まちだ自慢」推進計画の実行)	B	「めざす職員像」の実現	B
未来づくりプロジェクトの推進	C	次期5ヵ年計画行政経営改革プランの策定	B	適切な広報手段を選択し、テーマや状況に即した情報を提供	B	特定事業主行動計画に基づく、ワーク・ライフ・バランスの実現	C
公共施設等総合管理計画(実行計画)の策定	C	事務事業見直し	B	組織的な情報発信力向上	B	次期5ヵ年計画期間における定数適正化計画の策定	C
情報システム担当部長 熊坂 恵司		財務部長 馬場 昭乃		営繕担当部長 西村 正明		税務担当部長 市川 二郎	
取組	評価	取組	評価	取組	評価	取組	評価
社会保障・税番号制度への対応	C	健全で持続可能な財政の確立	C	中期修繕計画の推進と見直し	C	収納率の維持・向上	A
システム評価の推進	B	管理会計機能の強化とわかりやすい財務情報・財政状況の公表	B	学校施設整備による教育環境の向上	B	強制徴収公債権の一元化の実施	A
情報セキュリティの向上(インターネット、電子メールのセキュリティ対策)	C	市有財産の適正管理・有効活用	C	業務執行体制の見直し	B	償却資産課税客体の適確な把握	B
市民部長 内山 重雄		市民協働推進担当部長 持田 勝正		防災安全担当部長 福田 均		文化スポーツ振興部長 田後 毅	
取組	評価	取組	評価	取組	評価	取組	評価
「さわやか窓口」の推進	B	地域の担い手を育成する新たな支援施策の調査・分析	C	防災対策の基本となる、町田市地域防災計画の修正による災害対応力の充実	B	東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致	B
老朽化した地域センターの建て替え及び建て替え準備	C	第3次男女平等推進計画の進捗確認と次期計画の策定	D	地域防災活動をけん引できる自主防災リーダーの育成	C	(仮称)国際工芸美術館管理運営準備、文化芸術ホール的基本的な考え方の策定	C
市民部施設中長期マネジメント方針の検討	C	安心した消費生活を目指した関係団体との連携強化	C	官民協働のパトロール隊による防犯活動の実施	C	国際版画美術館や博物館の魅力ある展覧会の開催	D
地域福祉部長 須崎 信孝		いきいき生活部長 堀場 淳		保健所長 広松 恭子		子ども生活部長 小池 晃	
取組	評価	取組	評価	取組	評価	取組	評価
医療的ケアが必要な重度障がい者の通所施設整備支援	C	新しい介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な移行	B	出産・子育てをしっかりサポート事業~ゆりかご・まちだ~の実施	B	保育所整備の推進と保育所待機児童の解消	B
市民後見人育成の推進	B	データヘルス計画の策定	C	いのちを支える総合相談会など自殺防止関連事業の推進	B	子どもの「居場所」整備の推進	B
生活困窮者に対する相談支援体制の充実	B	介護度改善に伴うインセンティブ事業の実施	C	困難を抱える若者の相談・支援体制の充実	B	子育て世帯の自立応援プロジェクト(子どもの貧困対策)	B
経済観光部長 笠原 道弘		北部丘陵担当部長 荻原 康義		環境資源部長 小島 達也		循環型施設建設担当部長 田後 真人	
取組	評価	取組	評価	取組	評価	取組	評価
町田薬師池公園四季彩の杜観光拠点づくり	D	北部丘陵活性化計画アクションプランの策定	C	第二次町田市環境マスタープランの推進と、後期アクションプランの策定	C	建設地周辺住民との協働による施設整備の検討	D
創業者支援の推進	C	山林の活用方針の作成	C	家庭系ごみ・事業系ごみの減量と資源化の推進	C	熱回収施設等の建設事業者の選定	C
「観光まちづくり基本方針」の策定	D	都道155号線の整備及び管理計画(案)の策定	C	持続可能なエネルギー事業の促進	C	ビン・カン等、資源ごみ処理施設の設備の検討	D
建設部長 楠本 啓二		都市づくり部長 宗田 隆由		都市整備担当部長 須原 和男		下水道部長 大場 信吾	
取組	評価	取組	評価	取組	評価	取組	評価
都市計画道路の整備	C	南町田駅周辺地区のにぎわいある拠点づくり	B	町田駅周辺のまちづくりの推進	C	下水道整備の促進による良好な生活環境の実現	B
幹線道路の渋滞緩和	C	町田薬師池公園四季彩の杜の魅力向上	C	鶴川駅周辺街づくりの推進	B	下水道事業の安定した経営の促進	C
駅周辺施設の整備	C	多摩都市モノレールの延伸検討	C	相原駅西口の生活中心地形成	B	施設の耐震化などによる災害に強いまちづくり	C
会計管理者 藤田 明		市民病院事務部長 亀田 文生		医事調整担当部長 関口 高史		議会事務局長 古谷 健司	
取組	評価	取組	評価	取組	評価	取組	評価
会計事務システムの再構築	C	経営状態の安定化	C	新公立病院改革プランの策定	C	議場見学の推進	B
管理会計機能の強化	C	患者満足度の向上	C	地域医療連携の推進	B	議会報紙面の充実	B
資金管理計画に基づいた効率的な資金管理	C	災害拠点病院としての機能強化	C	病院機能評価受審準備の推進	C	新たな情報発信の検討	B
選挙管理委員会事務局長 古屋 中		監査事務局長 高橋 修一		農業委員会事務局長 荻原 康義		学校教育部長 吉川 正志	
取組	評価	取組	評価	取組	評価	取組	評価
迅速な選挙情報の提供	B	財務監査におけるリスクアプローチ	C	農地利用最適化	B	学校施設・設備整備の計画的推進	C
参院選に向け、投票行動につながる啓発事業の実施	C	監査事務の委託による監査報告書の質の向上	C	農地利用集積円滑化事業による農地のあっせん	D	小・中学校が連携した教育の推進	C
若年層に向け、出前講座やSNSを活用し、投票行動につながる啓発事業の実施	B	「都市監査基準」に準拠した監査の実施	C	地域に密着した農業活動の支援	C	児童・生徒の学力・体力の向上に向けた取り組みの実施	C
生涯学習部長 北澤 英明		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <h3>部長の仕事目標の流れ</h3> <p>部長は、年度当初にその年度の目標を設定し、中間期に取り組みの進捗状況、年度末に取り組みの成果を確認し、評価を行います。各段階において、市長がその内容を確認します。</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <pre> graph TD A[目標設定] --> B[中間確認] B --> C[成果確認 自己評価] D[市長確認] --> A D --> B D --> C </pre> </div> </div>					
取組	評価						
地域づくり型生涯学習の推進	B						
文化財の保存と活用の促進	C						
図書館利用者の拡大	C						

評価基準
 A：当初の目標を大幅に上回る成果を達成した
 B：目標水準を上回る成果を達成した
 C：ほぼ目標水準を達成した
 D：成果が不十分である
 E：取り組みが滞っている